

念仏者九条の会
第30回全国集会
—オンライン集会—

安芸門徒九条の会 非戦平和を願う真宗門徒の会

核兵器禁止条約発効の意義

—宗教者（僧侶・門徒）への期待—

2021年2月2日(火) 14:00~16:00

講師 川崎 哲さん ICAN 国際運営委員

箕牧智之さん 広島県被団協（坪井）代表代行

北広島町在住 明覚寺総代長

「核兵器禁止条約にかける被爆者の願い」

※参加方法はオンライン参加 もしくは下記の特設会場です
新型コロナウイルス感染状況により設置できない場合もあります

広島別院会場	090-7506-6015	(吉川徹忍)
鹿児島別院会場	090-8216-0031	(村上孝昭)
山口別院会場	090-1681-5366	(縄田和光)
長野別院会場	026- 232-2621	(長野教区教務所)
福岡教務所会場	090-3326-3493	(三好慶祐)

核抑止論、
人間として
おかしー!

I オンライン講演会お申し込み・お問い合わせ

念仏者九条の会事務局 小武正教

メール odake@orange.ocn.ne.jp

携帯 080-5233-3429

※お申し込みは必ず☑メールにてお願いします

事務局からの返信メールを持って受付完了とします

II 特設会場での参加をご希望の方は、1月22日までに上記各会場担当者にお申し込み下さい

川崎 哲 (かわさき・あきら)
 ピースボート共同代表。核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN) 国際運営委員。2008年から広島・長崎の被爆者と世界を回る「ヒバクシャ地球一周証言の航海」プロジェクトを実施。2009～10年、日豪両政府主導の「核不拡散・核軍縮に関する国際委員会」でNGOアドバイザーをつとめた。2014年5月、「集団的自衛権問題研究会」をたちあげ、同代表。著書『核拡散』(岩波新書)で日本平和学会第1回平和研究奨励賞を受賞。雑誌『世界』(岩波書店)をはじめ国内外のメディアに寄稿多数。核兵器廃絶のためのNGOネットワーク「アボリション2000」の活動に1998年より参加、2016年まで調整委員をつとめた。
 恵泉女学園大学非常勤講師(2007年度～「軍縮と核」「グローバルガバナンス論」)。東京外国語大学の非常勤講師として「コンフリクト耐性をそなえた国際職業人教育」事業に参画(2014年度～)。2017年度は以下の大学で非常勤講師:早稲田大学・文学学術院(アジアにおける人間の安全保障:前期)
 日本平和学会会員、第22期理事(2016～2017年)。日本軍縮学会会員・編集委員(2011年～)。原子力市民委員会、第2部会(核廃棄物部会)メンバー。

〈経歴〉

1968年東京生まれ。
 1993年東京大学法学部卒業。障害者介助の傍ら、市民グループで平和活動や外国人労働者・ホームレスの人権活動に従事。
 1998～2002年、NPO法人「ピースデポ」スタッフ(00～02年、事務局長)。
 2002～2003年、イラク戦争を止めるためのメールマガジン「週刊イラQ」発行。
 2003年、ピースボートのスタッフとなり現在に至る。
 2004年～、「武力紛争予防のためのグローバル・パートナーシップ(GPPAC)」東北アジア地域事務局の運営に携わる。
 2005年～、「国連改革に関するNGO連絡会」共同代表として、外務省とNGOの共催による「国連改革に関するパブリックフォーラム」を運営(軍縮部門を担当)。
 2006年～、東アジア平和フォーラム(岩波書店、庭野平和財団など後援)に実行委員として関わる。
 2008年5月の「9条世界会議」では日本実行委員会事務局長。
 同年7月の「北海道洞爺湖サミット」にあたっては、2008年G8サミットNGOフォーラムの人権・平和ユニット・リーダー。
 2009～2010年、日豪両政府主導の「核不拡散・核軍縮に関する国際委員会」で共同議長に対するNGOアドバイザー。
 2012年1月の「脱原発世界会議 2012 YOKOHAMA」で実行委員長代理。

〈著編書〉

■著書

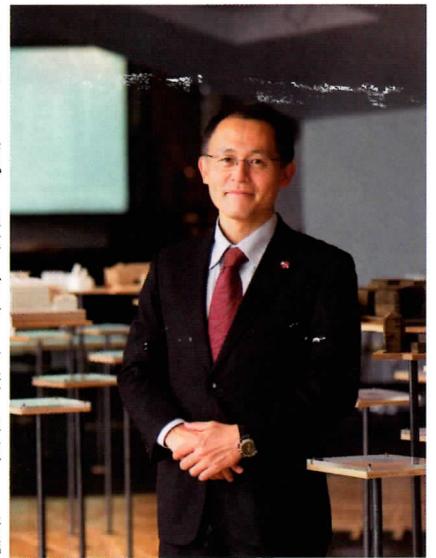
『核兵器を禁止する』岩波ブックレット 2014
 『核拡散 軍縮の風は起こせるか』岩波新書 2003

■編著書

「脱原発世界会議」実行委員会編『原発のない世界のつくりかた』合同出版 2012
 「9条世界会議」日本実行委員会編『9条世界会議の記録』大月書店 2008
 共著『イマジン9 想像してごらん、戦争のない世界を。』合同出版 2007
 グローバル9条キャンペーン『5大陸20人が語り尽くす憲法9条』かもがわ出版 2007
 共編『戦争をしなくてすむ世界をつくる30の方法』合同出版 2003

■共著書

川島正樹編(共著)『記憶の共有をめざして 第二次世界大戦終結70周年を迎えて』行路社 2015
 堀芳枝編著(共著)『学生のためのピース・ノート2』コモンズ 2015
 メッセージアンドフォトブックノーニュースヒロシマナガサキフクシマ編(共著)『No Nukes ヒロシマ、ナガサキ、フクシマ』講談社 2015
 秋山信将編著(共著)『NPT 核のグローバル・ガバナンス』岩波書店 2015
 池田香代子編著(共著)『この思いを聞いてほしい! 10代のメッセージ』岩波ジュニア新書 2014
 前田哲男・飯島滋明編(共著)『Q&Aで読む日本軍事入門』吉川弘文館 2014
 岩波書店編集部編(共著)『これからどうする 未来のつくり方』岩波書店 2013
 嘉指信雄・森瀧春子・豊田直己共編(共著)『終わらないイラク戦争 フクシマから問い直す』勉誠出版 2013
 君島東彦編(共著)『平和学を学ぶ人のために』世界思想社 2009
 徐勝監修(共著)『北朝鮮が核を放棄する日』晃洋書房 2008



核兵器禁止条約 50カ国が批准

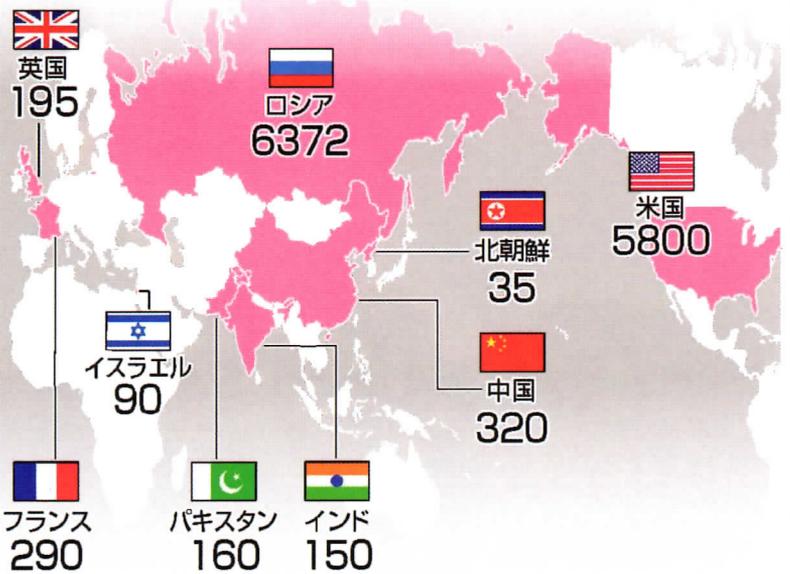
2017年7月の国際会議で122カ国(国連加盟国63%)の賛成で採択された禁止条約。2020年10月24日、中米ホンジュラスが批准し、50カ国の批准で発効が確定しました。

「ABC兵器」とも呼ばれる大量破壊兵器。Aは原子(核)兵器、Bは生物兵器、Cは化学兵器です。BCは、生物兵器禁止条約(1975年)、化学兵器禁止条約(1997年)が発効しています。

非人道兵器では、対人地雷やクラスター爆弾の禁止条約が、それぞれ1999年2010年に発効しています。

この度桁違いの破壊力をもつ大量破壊兵器・非人道兵器である核兵器の禁止条約がやっと発効しました。

国別の推定核弾頭数(2020年9月現在)



(注)全米科学者連盟の報告に基づく。解体待ちの弾頭を含む

核兵器禁止条約の骨子

- 一. 核兵器の使用がもたらす破滅的な人道的影響を深く憂慮。
- 一. 核兵器完全廃棄は、二度と使用されないことを保証する唯一の方法。
- 一. ヒバクシャと核実験被害者の容認しがたい苦難と損害に留意。
- 一. 核兵器の開発、実験、生産、製造、取得、保有、貯蔵、移転、受領、使用、使用の威嚇の禁止。
- 一. 自国領域・管理地域での核兵器の配置、設置、配備の許可の禁止。